

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第4区分

【発行日】平成26年12月18日(2014.12.18)

【公表番号】特表2014-507553(P2014-507553A)

【公表日】平成26年3月27日(2014.3.27)

【年通号数】公開・登録公報2014-016

【出願番号】特願2013-543173(P2013-543173)

【国際特許分類】

B 2 2 F	9/24	(2006.01)
C 2 2 C	5/06	(2006.01)
C 2 2 C	5/02	(2006.01)
C 2 2 C	9/00	(2006.01)
C 2 2 C	9/05	(2006.01)
B 2 2 F	1/00	(2006.01)
B 8 2 Y	30/00	(2011.01)
B 8 2 Y	40/00	(2011.01)

【F I】

B 2 2 F	9/24	E
C 2 2 C	5/06	Z
C 2 2 C	5/02	
C 2 2 C	9/00	
C 2 2 C	9/05	
B 2 2 F	9/24	B
B 2 2 F	1/00	K
B 2 2 F	1/00	L
B 8 2 Y	30/00	
B 8 2 Y	40/00	

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月31日(2014.10.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも1つの第1の還元性金属イオンと、少なくとも1つのIUPAC Group 3、IUPAC Group 4、IUPAC Group 5、IUPAC Group 6、またはIUPAC Group 7からの元素もしくは元素のイオンを含む、少なくとも1つの第2の金属または金属イオンとを含む、少なくとも1つの組成物を提供することであって、前記少なくとも1つの第2の金属または金属イオンは、前記少なくとも1つの第1の還元性金属イオンとは原子番号において異なる、組成物を提供すること、

前記少なくとも1つの第1の還元性金属イオンを、少なくとも1つの第1の金属ナノワイヤに還元することと、を含む、方法。

【請求項2】

前記少なくとも1つの第1の還元性金属イオンは、少なくとも1つのIUPAC Group 11からの元素のイオンを含む、請求項1に記載の方法。

**【請求項 3】**

前記少なくとも 1 つの第 1 の還元性金属イオンは、少なくとも 1 つの銀イオンを含む、  
請求項 1 ~ 2 のいずれかに記載の方法。

**【請求項 4】**

前記少なくとも 1 つの組成物は、前記少なくとも 1 つの第 2 の金属または金属イオンを含む、  
少なくとも 1 つの金属酸化物化合物を含む、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の方法  
。

**【請求項 5】**

前記少なくとも 1 つの金属酸化物化合物は、金属酸化物ハロゲン化物化合物または遷移  
金属酸化物化合物のうちの少なくとも 1 つを含む、請求項 4 に記載の方法。

**【請求項 6】**

前記少なくとも 1 つの第 2 の金属または金属イオンは、+ 4 以上の酸化状態を含む、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の方法。

**【請求項 7】**

前記少なくとも 1 つの金属ナノワイヤは、約 10 nm ~ 約 300 nm の平均直径、および約 50 ~ 約 10,000 のアスペクト比を含む、請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の方法  
。

**【請求項 8】**

前記少なくとも 1 つの金属ナノワイヤは、少なくとも 1 つの銀ナノワイヤを含む、請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の方法。